

問い合わせ対応記録 概要

【問い合わせ件数】

	電話	大谷研究室へのメール
愛媛県 問い合わせ件数 23 件 (男性 4 件 女性 19 件 不明 0 件)	20 件	3 件
長崎県 問い合わせ件数 33 件 (男性 13 件 女性 14 件 不明 6 件)	30 件	3 件
県不明 問い合わせ件数 19 件 (男性 3 件 女性 13 件 不明 3 件)	16 件	1 件

【愛媛県：問い合わせ内訳 (大谷研究室 23 件、県庁 0 件)】

苦情	調査への質問	質問文への質問	真偽確認	辞退・拒否	郵便行き違い	住所・宛名間違い
0 件	3 件	2 件	4 件	12 件	0 件	2 件

【長崎県：問い合わせ内訳 (大谷研究室 16 件、長崎県庁県民センター17 件)】

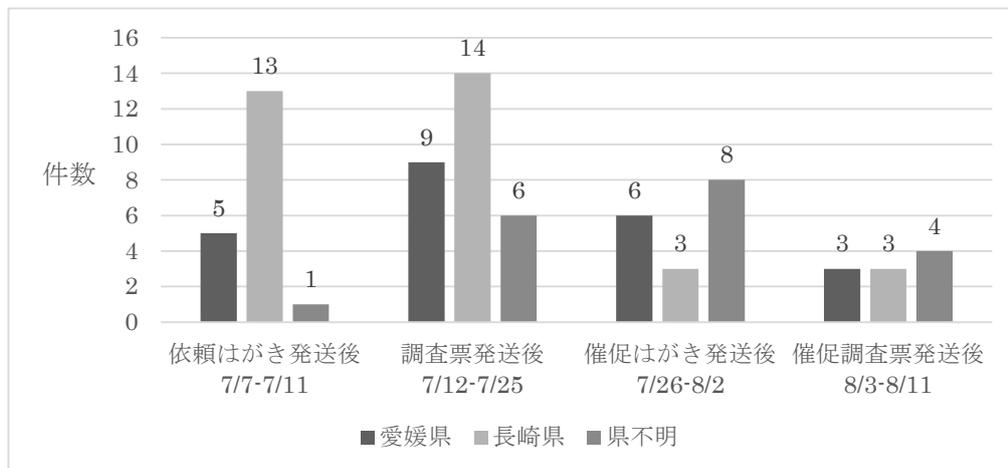
苦情	調査への質問	質問文への質問	真偽確認	辞退・拒否	郵便行き違い	住所・宛名間違い
1 件	6 件	2 件	15 件	9 件	0 件	0 件

【県不明：問い合わせ内訳 (大谷研究室 19 件)】

苦情	調査への質問	質問文への質問	真偽確認	辞退・拒否	郵便行き違い	住所・宛名間違い
0 件	1 件	2 件	2 件	11 件	3 件	0 件

問い合わせの内容としては、調査自体が本物であるのか、信頼できるものであるのかというものが最も多く、次いで本人不在による回答不可や拒否が多かった。調査対象者は各県 2000 人ずつ無作為抽出によって選定されたが、調査自体がプライバシーに関わるということから、架空請求や詐欺だと疑われることがあった。そのような問い合わせの対応として、調査概要を詳しく説明するとともに個人情報情報を厳重に管理していることを伝え、調査への協力依頼を行った。長崎県の問い合わせ件数の約半数にあたる 17 件は、長崎県庁への電話問い合わせであった。一方、愛媛県庁への問い合わせはなく、この点で両県の大きな違いが確認できた。これは愛媛県において記者会見をおこなったことにより、調査対象者の本調査への理解と信頼が深まったことが理由として考えられる。

【問い合わせ時期】



愛媛県は調査票発送後の問い合わせが最も多く、次いで催促はがき発送後が多かったのに対して、長崎県は調査票発送後と依頼はがき発送後が並ぶ形となった。

調査票自由記述欄 回答概要

	調査票に対する意見	県庁への意見
愛媛県 自由記述回答者 290 人	228 件	142 件
長崎県 自由記述回答者 296 人	250 件	144 件

1. 調査票に対する意見

	肯定的な意見	否定的な意見	質問に対する要望	その他
愛媛県	48 件	104 件	56 件	20 件
長崎県	72 件	124 件	36 件	18 件

肯定的な意見

- ・答えやすい調査でした。(愛媛 約 11、長崎 約 19)
- ・調査に協力できず、申し訳ございません。遅くなり申し訳ありません。(愛媛 約 11、長崎 約 11)
- ・結果が知りたいです。(愛媛 4、長崎 約 2) ・役に立てると幸いです。(愛媛 約 10、長崎 約 20)

否定的な意見

- ・この調査が何の役に立つのか。(愛媛 約 11、長崎 約 16)
- ・個人情報を含む質問が多く、答えてもよいのか不安だった。信用できる調査なのか。(愛媛 約 17、長崎 約 21)
- ・住所が間違っている。←名前の漢字間違いも(愛媛 2、長崎 約 5)
- ・質問が答えにくかった。(親の居住状況、収入、郵便番号(勤務先) など)

質問文に対する意見 (提案)

- ・現在住んでいる市町村の年数の質問。「住み始めて・戻って」何年と、「通算で」何年の意味が分かりづらかった。単に「～年住んでいる」の回答欄だけでいい(愛媛 約 6、長崎 約 0)→答えにくいという意見では長崎 約 4
- ・問 10(1)(2)は問 10 で 1 と答えた場合は回答しないで良いと解釈したが、明記すべき。(愛媛 約 6、長崎 約 5)
- ・医療や子育てに関する質問がもっとあった方がいいと思います。子供の医療に関しては、全国を比べると、それぞれの都道府県で医療費の制度に違いがあるからです。少子化とは言われますが、子育てする環境に違いがあるのはどうかと思うので。(愛媛 約 11、長崎 約 8)
- ・問 5 について 郵便番号は調べました。住所(番地は除く)の方が答えやすいと思います。(愛媛 約 5、長崎 0)
- ・問 33、問 34 の項目に「わからない」という選択肢があるといいと思います。(愛媛 約 2、長崎 約 4)
- ・ペット(犬、猫ほか)飼っているか? / ペット関係(愛媛 約 3、長崎 約 2)

その他 (答えにくさ、提案等の記述なし)

- ・私の世帯は～なので、こういう答え方をしました。(愛媛 約 14、長崎 約 14)

2. 県庁への意見

愛媛県

- ・交通事故がよく起こる場所があるにもかかわらず何の対策もされていない。また外灯が少なく暗い道が多いと思うので、整備・改善をして欲しい。
- ・海外から観光客が着やすい地域づくりをして欲しい。四国遍路や自然や海産物、物価の安さや安全性などポテンシャルはたくさんあると思うので最大限に活かして欲しい。保守的なイメージからもう少し開放的で多くの人が住みたいと思う地域になればいいと思います。
- ・愛媛国体に向けご苦労さまです。成功を祈っております。
- ・公共交通機関(バス・電車など)を利用しやすいようにしてほしい。
- ・原発を止めるように。伊方原発稼働については、伊方だけではなく近隣市町の住民の意見も聞いて、判断・決定して欲しかった。(今後も)
- ・県の広報誌はどのようにしたら入るのでしょうか。

長崎県

- ・長崎から下五島上五島の船代が高すぎます。ちょこちょこ遊びに行きたいのですが、思うように行けません離島振興券が島にはありますが、本土の人達にも考えてほしい。
- ・他県との差がありすぎる。子供の医療費を考えて頂きたい。
- ・Uターン者に対して対応は良いと思います。実際住んでみて仕事を通じて感じたことは、長崎県が大好きです。
- ・住みづらさ、不便さを感じながらも今後も長崎を出る予定は無い。もっとお金をかけるべきところを見極め、施設等充実させて欲しい。子育てする環境等特に。